

# 寺報

龍正寺

日なた 151号

法華経

は

良薬

日廷 

<令和 2年 12月>

宝龍会  
護持会

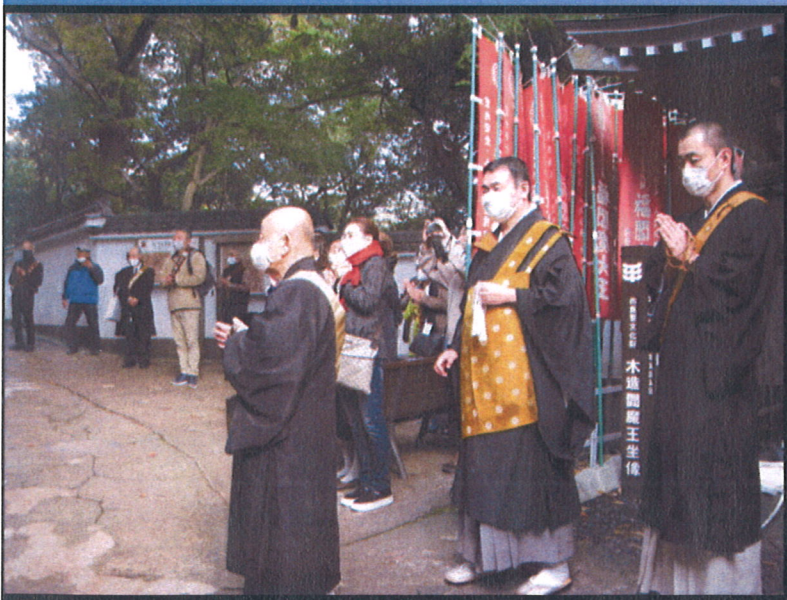
# 金華山お題目塚供養

令和2年11月4日



宗務所主催のお題目塚供養  
が行われました。

岐阜県下寺院檀信徒方々も  
出席され、龍正寺檀信徒も参  
加させていただきました。



# 任職一言 (御遺文より)

令和2年も後わずかになって来ました、又コロナウイルス菌が拡大して来ました、身体を充分気を付けて下さい。

日蓮大聖人御遺文

## 『聖愚問答鈔』

「嬰兒に乳を含むに其味を知らずといへども自然に其身を生長す醫師が病者に藥を與ふるに病者藥の根源を知らずと雖ども服すれば任運と病癒ゆ。若藥の源を知らずと云て醫者の與ふる藥を服せずは其病癒へしや、藥を知らざるも服すれば病の癒る事以て是同じ、既に佛を良醫とごうし法を良藥に譬へ衆生を病人に譬ふ、されば如来一代の教法を擣糝くわ糝わ組合して妙法一粒の良藥に丸せり豈に知るも知らざるも服せん者煩悩の病癒ざるべしや、病者は藥をも知らず病をも辨わかへずと雖も服すれば必癒ゆ、行者も亦然也法理をも知らず煩悩をも知らずと雖も、只信ずれば見思塵沙無明みしちんじゆむみやうの三惑の病を同時に断いて實報寂光のうてなに登り本有三身の膚を磨ん事疑あるべからざれば傳教大師の云く能化所化俱に劫を歴ことなし妙法經の力

即身成佛すと法華經の法理を教へん師匠も又習はん弟子も  
久しからずして法華經の力をもて俱に佛に成べしと云ふ  
文也」文永二年

「講義」嬰兒に乳を飲ますのに、その味を知らないでも自然に生長し、医者が  
病人に薬を服ますのに、病人はその薬の法を知らないでも、服めば自然に  
癒るであらう。若し薬法がわからと言って、服まなかったならば如何して病が  
癒るであらう。知っても知らないでも、服めば病は癒るのである、すべし法  
華經には、佛を良し、医者に譬へ、教を良し、薬に譬へ、衆生を病人に譬へて  
佛一代の教經を巧に配劑して、丸めて一粒の妙法という良薬を造  
られたのであるから、その道理を知っても知らないでも、服んだものは、煩悩  
の病の癒らないものはない。病人は薬も病も知らないでも、服めば必ず  
癒るので、法華經の行者もまた斯様に、法門の道理を知らず、煩悩  
の迷ひを知らないでも、ただ信じさへすれば、見思・塵沙・無明という  
ような一切の迷を断つて、冥報・寂光という佛の國に到って、心に  
本から具はつた佛種の光をあらわすことは疑いないことである。それ  
故に傳教大師は法華秀句に「能化も所化も法華經の力で、すみやかに  
その身のままで佛になる」と言はれているが、これは法華經の理義を教  
へる師匠も教わる弟子も直に法華經の力をもつて佛になるという文である。

# 「仏様のおことば」

- お前はお前で丁度よい
- 顔も体も名前も姓もお前にそれは丁度よい
- 貧も富も親も子も息子の嫁もその孫もそれはお前に丁度よい
- 幸も不幸も喜びも悲しみさえも丁度よい
- 歩いたお前の人生は悪くもなければよくもない お前にとって丁度よい
- 地獄へ行くのが極楽へ行くのが行ったところが丁度よい
- うぬぼれを要となく卑下する要もない
- 上もなければ下もない
- 死ぬ月日さえ丁度よい
- 佛様と二人連れれの人生が丁度よくないはずがない  
これでよかったと戴けたとき 徳念の信が生まれます

家族は一番小さい社会のようです  
親子の尊い愛があって助け合い支えあって  
日常のくらしを大事にせねばと思います  
誰しも悩みも苦しみも色々といっぱい  
あるのではないのでしょうか  
そんな折にふっと仏さまのおとばを  
思い出して そうか そうかと心を静められ  
のではないのでしょうか  
そして何より尊いお題目のおかげ様を  
いただきまして 何よりの安心のよろこびと  
思ってみます

南無妙法蓮華經

合掌

# 「久遠寺参拝に大古久尊天様の御縁」

今年の11月で息子が15才となりました。  
まだ日本が江戸時代の古昔であれば元服の年令であり  
大人の仲間入りであります。

その記念すべき年に私は息子を久遠寺への参拝に  
同行を求めました...

それとむひつの大切目的として我が家の守護神様  
として大古久天神様を勧請したく、今回で4度目となる  
身延山への参拝に向いました。

また今回の参拝には2度目となる息子と共に初の久遠寺と  
なる次女が同行した親子3人での旅となりました。

私は出発の前日に龍正寺への参拝に於いて、御宝前の  
大古久天様に お伝えしました

「明日に久遠寺に子供達と参ります。その際に守護神様  
として大古久天神様をお迎えしたく思っています。

どうか良き御縁を下さる...

当日には晴天に恵れ、富士山を眺める事が出来ました。  
そして私達は無事に参拝とご開帳を終え、  
佐口上人利紹介にて載いた仏具店に向いました。

同行した子供達に記念にと思いそれぞれに選ばせた  
好きな数珠を購入しました...

私は私は目的に即して大古久天様を棚から  
選んでいました...

その棚は3段に分れていて、鬼子母神様、目連聖人様、  
大古久天様と部類による配置されておりました。  
私は大古久様の棚から約20体位の個体から選んで  
おりましたが...中々と特定の個体に対して閃くに至らず...  
心の中で「折角お上に紹介し載せてあげて...

任せてあげて他の店に行ってみようかほ...」  
そんな風に思っていると...奥から年輩の店主が来られて  
私に向って「お入り大古久様やら。これはどうですか？」と  
示して下さった個体は別の棚にポンと置かれてあり  
鬼子母神様の隣にあった大古久天様でした。  
そのお顔には薄紅の口紅を塗られており、私には  
とても神秘的に映り、即座に購入させて頂きました。

私は龍正寺の大古久天様に祈願させて頂いた新大古久  
御縁に感謝と感動をいっぱいおりました。  
また、こうして親子で身延山に参拝できた事にも  
感謝をいっぱいおりました。

この気持ちをこれから精進に活かしたいと思います。



## ～ 困難の中で得たもの ～

今年 は 世界的歴史に残る困難の一年でした。

去年の今頃、こんな一年後は誰も予測していませんでした。また私達はコロナウイルスとの戦いの中にいます。

テレビのコマーシャルで「目に見えない物と戦って、見えない物に救われている。」との言葉を耳にしました。

この一年間でコロナウイルスが要因となり、学んだ事、気づいた事もたくさんありました。

困難は人生の中で何度も起こりうる事です。

その難をどのように受け止めるか、どのように切り替えていくかで人生は大きく変わると思いました。

困難を乗り越えた時、人は強くなっていく。

試練の中にチャンスがたくさんあるかも知れません。

新たな人生の出会いが見つかるかも知れません。

自分を改めて見つめなおす事が出来るかも知れません。

ただ… 苦悩に打ちひしがられて、大切な時を過ごすより、この時だから出来る事や、これからの新しいものを

見い出せる時間になると思います。

このように思えるようになったのは法華経。御題目のおかげです。

法華経を学ぶ事は決して容易い事ではありません。

しかし、そこには必ず大いなる俵せ・喜びが溢れ出てきます。そして、知らず知らずに心は鍛えられ強くなります。物事が明るく方へ向かい、心も晴れ晴れと運はれるようになります。

日蓮大聖人様のように、このような難も受け止め、立ち向かえる勇氣、自信が出来ます。

これからどのような人生がおとされるかも知れませんが、どのような時であれ、御題目、法華経を唱えていきたいと思えます。

来年こそは、了口ナラユスに打ち勝ち世界中が俵せになりますように。

～ 南無妙法蓮華経 ～

今年も一年間「寺報日なだ」を御愛読頂きまして  
ありがとうございます。来年もよろしくお願ひ致します。

「朧から牡丹食餅はない」

朧から牡丹食餅の意味は、思いがけない幸運が舞い込むこと、労せずしてよいものを得ることのたとえ。

私は、離婚調停、裁判をしている頃から解決した後のほうが大変だなぁ、一人で生きていく覚悟がいるなぁと思いつつ鬼子母神様の前で手を合わせていました。

「朧から牡丹食餅はない、自分の幸せは自分で掴み取る」とバの中から思いが出ていました。

手を合わせているから幸せが来るのではなく、困難の中からこそ自身に必要な答えを自らが気づく事が幸せの一步であると、幸せになるための努力はすると誓いながら日々過ごしていました。

己の心をしっかり見つめ直さないと前の自分と同じであり、また同じ事を繰り返すことが考えられます。そんなことがあってはいけないので自分の中の壁を越えることが大変であると理解し、1つずつ悪い癖と向きあいバの持ち方を変えるようにしました。

そうすると、仕事の向きあい方、人とのつきあい方が少しずつ変わってきました。

2020年に入り、仕事での役割にも変化があり、指導的  
立場となりました。

1つずつ人生の階段を昇っている感じでした。

変化は大変な事もありますが、感謝を忘れず  
日々精神していきたいと思っています。

# < 12月行事予定 >

- |          |        |                       |
|----------|--------|-----------------------|
| 12月6日(日) | 9:00~  | 大掃除<br>役員会            |
| 13日(日)   | 10:00~ | { 宗祖日蓮大聖人報恩会<br>釋尊成道会 |
| 18日(金)   | 10:00~ | 鬼子母尊神<br>七面大明神 ) 祈禱会  |
| 31日(木)   | 23:45~ | 年越読誦会                 |

# < 12月住職の予定 >

コロナ禍により

寺院を法務

# < 12月の予定 >

- |          |         |        |
|----------|---------|--------|
| 12月7日(月) | 各々の時間で" | 清掃、準備  |
| ↓        | ↓       | ↓      |
| 12日(土)   |         |        |
| 13日(日)   | 法要後     | 片付け、準備 |
| 14日(月)   | 各々の時間で" | 清掃、準備  |
| ↓        | ↓       | ↓      |
| 17日(木)   |         |        |
| 18日(金)   | 法要後     | 片付け、準備 |
| 19日(土)   | 各々の時間で" | 清掃、準備  |
| ↓        | ↓       | ↓      |
| 28日(月)   |         |        |
| 30日(水)   | 9:00~   | 飾り付け   |